

# 目 次

## **VISION**

神経科学の社会学 (彦坂興秀) .....	1
-----------------------	---

## **SCIENCE TOPICS**

小脳核におけるグリシン性神経伝達の発見 (河 和善) .....	3
----------------------------------	---

## **PROFILE**

上田陽一 .....	4
------------	---

## **HELLO PSJ**

磯村宜和 .....	5
------------	---

## **OPINION**

統合生理学, システム生理学, フィジオームの重要性 (菅 弘之) .....	7
--	---

## **AFTERNOON TEA**

高橋和巳 .....	9
清岡崇彦 .....	10
“単一ユニット活動記録と魚釣り” (國武孝人) .....	11

## **INFORMATION**

時実利彦記念賞 平成16年度申請者の募集について .....	13
江崎玲於奈賞の募集について .....	13
KAST 平成15年度終了プロジェクト報告会 .....	15

## **RECORDS**

平成15年度日本生理学会第2回常任幹事会議事速報 .....	16
ノバルティスシンポジウム 「病態痛：分子から臨床まで」を終えて (熊澤孝朗) .....	18

## **CALENDAR**

主な研究集会日程 .....	21
----------------	----

## **ABSTRACTS**

第54回西日本生理学会の抄録 .....	22
----------------------	----

---

〈表紙の図〉

「生体はいかに温度をセンスするか—TRP チャンネル温度受容体—」 富永真琴：日生誌 Vol.65No.4・5:P132,2003

4つの温度受容体チャンネル電流の温度依存曲線（左）と知られている温度受容体のカバーする温度（右）

左：保持電位 - 60mV での全細胞電流。下向きが活性化して細胞内に流入する内向き電流を示す。点線は活性化温度閾値を示す。カプサイシン受容体 TRPV1 は約 43 度以上，TRPV2 は約 51 度以上，TRPV4 は約 36 度以上，TRPM8 は約 28 度以下で活性化する。

右：冷から熱の温度刺激を感知する 5 つの TRP ファミリーメンバー温度受容体と ANKTM1 を示す。TRPV4 を除く 5 つのチャンネルは温度痛み刺激受容に参与することが推定されている。TRPV1 の低温側，TRPM8 の高温側の点線は，受容体の機能制御によって活性化温度閾値が変化しうることを示す（本文参照）。